

一般質問  
8議員登壇

# 市政を問う

## フラワー公園づくりはやめよ

市長／業者に委託して進めたい



徳峰 一成 議員

**徳峰議員** あらたに公園をつくり、人を呼び込むことは、花房峡憩いの森（末吉町）をみるまでもなく、大変困難なことである。税金の大きなムダづかいになりかねない。フラワー公園づくりはやめるべきだ。

**池田市長** 市民の憩いの場として、パークゴルフ場を含めた公園とした。今後業者に委託して、計画を進めていきたい。

**問** 大鳥峡（大隅町）と花房峡憩いの森の管理はどうか。大鳥峡は建設に1億1千万円、現在周辺の環境悪化で閉鎖している。花房峡憩いの森は建設に9億6千万円、最高時の利用者は年間8万人、昨年は1万1千人である。

**問** こうした今ある公園の厳しい管理の状況を反省しないまま、あらたに公園をつくることは、今まで持っている車の修理はせず、あらたに大型の新車を買うようなものではないか。

**市長** 花房峡憩いの森とフラワーパークは目的が違う。合併特例債を使って計画を進めていきたい。



現在閉鎖されている大鳥峡

**市役所前の消防詰所（末吉中央分団）建設は考えなおすべき**

**問** 市は本年度、市役所本庁（図書館）前の駐車場に、消防詰所を建設しようとしている。

しかし建設場所は、詰所を使用する消防団からいつても、また図書館を利用する市民からいつても適切地とは言えない。

建設場所は市役所の裏か横、あるいは区画整理内の市の所有地に変更すべきではないか。

**市長** 以前から多くの場所を検討した結果、この場所に決定した。私は適切地と考えており建設場所を変える考えはない。

**災害復旧には積極対応を**

**問** 今回の豪雨災害で私が強く感じた点は、市（あるいは職員）が市民の立場でどこまで積極的に手助けができるかについて、市はまとまった条例等をつくっていない点であった。

たとえば法律で義務づけられた災害復旧基金の積立てがなされていない。来年度には間に合うよう早急に取り組むべきだ。

**市長** 来年の3月までには、基金を積み立てたい。

**問** 一人暮らしや、みよりのないお年寄りの民家の災害など、市は手早い援助をおこなうべきで

あった。

**市長** 個人の財産まで対応できない。

**問** 市は可能なかぎり市民の手助けをおこなってこそ、市民から評価されるのではないか。

さらに大川原の市が管理する川の決壊、末吉胡摩地区の排水施設のない農地の崩壊など、市に一定の責任があり、個人の財産と放置しないで災害復旧にあたるべきだ。

**市長** 今回は天災であり、市に責任はない。市がすべての災害に対応できるわけではない。



胡摩の災害による農地崩壊

# 豪雨災害復旧工事の 早期完了を

## 市長／22年度内の完成を目指す



吉村 幸治 議員

**吉村議員** 災害被害状況はどうなったか。

**池田市長** 林地・耕地・

土木で、被害総額23億4281万円となっている。

**問** 年度内にどこまで復旧できるか。

**市長** 林地は10ヶ所、農地・水路・農道・林道などすべて年度内の予定、道路・河川も年度内完成を目指しているが橋梁が23年度の前期までかかる。なお、林地災害(治山事業)は22年度施工以外についても、県と協議を進め、できるだけ早急に対応でき

るよう取り組んでいく。

**防災対策をどのように進めていくか**

**問** 市防災会議はどうなっているか。

**市長** 今年は5月25日に開催予定であったが、口蹄疫の関係で延期している。



流失した踊橋

**問** 危険箇所点検報告及び現地調査など、大事な防災会議であると思うが開催するか。

**市長** 9月末頃に開きたい。

**問** 今回の豪雨災害をどのように原因分析するか。

**市長** 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因とと思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により井堰や暗渠で水路をせき止めたことなどもある。

**問** 中谷地区においてはどうか。

**市長** 河川改修を部分的に行っているものの川幅が狭い箇所があること、堤防が低いこと、下流に関之尾の滝があることなどが考えられる。

**問** 復旧事業のみでは再度災害を被る恐れがあるのではないか。

**市長** 災害は原形復旧が原則となっており、元にもどすことになるが、中谷地区の被災状況を見ると、庄内川の河川改修等の抜本的な対策がなされないと再び被災する可能性があると考ええる。

**中谷むらづくり委員会からの要望書を受けてどう取り組むのか**

**問** 地区民が安心して暮らせるために、庄内川河川対策協議会等を設置して、解決に向け全力をあげ取り組むべきであると思うか。



宮崎県境の寄り州 (P2 参照)

**市長** 庄内川は宮崎県境で両県が管理する河川であり、なかなか双方の協力体制が整いにくい。

**問** 関係機関に対して話し合いのできる場を設けるよう今後協議していく。大きな予算を伴うことでもあり、国・県に強く要請していく。

**問** 早い段階で取り組む必要があると思うが、どのように会議等を持つていくか。

**市長** 7月災害後からの要請活動のなかで、今度

は両県とも良く理解を頂いたと思っている。

**問** これからも要請活動をして成功させたい。

**問** 抜本的な対策までには時間を要するので、担当者の会議等を解決するまで継続していく必要があると思うか。

**市長** 今後、要請活動をしていくなかで、どのような形が良いのか検討させてもらって、要望等に十分応えられるよう努力していく。

# 昭和46年竣工の農業構造改善事業に係る懸案事項は

市長／農振除外は具体的な住宅建設がなければ難しい



漆間 純明 議員

農振見直しは

どうなったか

漆間議員 地区内（現在

改良工事中）の桜ヶ丘線（西側一部農振除外）について、5年節目の農振見直しと改良工事予定の23年度を目前にして、今日までの進捗状況は。

**池田市長** 改良工事については23年度までの事業実施予定となっている。

農振除外については、市が住宅建設を計画、もしくは地域住民及び地権者の要望により除外する場合は、具体的な計画がなければ難しいとのこと。

**問** 工事中前の地権者の要望に対する担当職員説明は工事着工と同時に並行して、除外申請も行っていくとの約束であったが、再度関係機関と検討する考えはないか。

**市長** これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

**問** 平成20年第4回定例会一般質問に対し、八合原地区道路及び竹山地区については、排水機能不足で機能を果たしていない。今後流域地域調査をし、整備する方向で検討するとあったが、今日までの審議内容と今後の計画は。

**市長** 検討委員会を4回開催し、特に竹山地区に対しては、流域調査の業務委託を実施している。計画としては、排水路6件、農道2件、市道2件、農道維持補修等9件と、現在新設改良事業を進めている。

**問** 他に電源立地地域対策交付金事業の継続要望及び実施地区については、早期完成に努めていきたい。竹山地区シラス対策事業実施の計画年度は平成23年度予定である。

**市長** 側崩落にもなう下流田への土砂流入については、現場をみるかぎり、市道の排水対策が早急の課題と思うが。

**市長** 何らかの事業（たとえば市単独排水路整備事業）等で取り組んでいく。

**問** 八合原台地の住宅の張り付いた農道等については、側溝付き改良工事に対応すべきと考えるが、市長 受益者申請により生コン舗装、碎石等の原

材料支給だけでなく、側溝等の原材料支給も行い、随時整備をしていく計画である。

**問** 県道71号線五郎イクターに通ずるアクセス道路について、工事中断という現況をどのように認識され、今後どのように交渉を進めていく考えか。

**市長** 別府地区からバイパス区間、500mの用地について所有者と交渉を重ねてきたが、同意が得られず事業完了となった。県としても71号線拡幅

**市長** 市でも諸々の調査のうえ県に強く要望していく。

**問** 通学路として果たしている現状を考えると、児童生徒の安全・安心を確保するために教育委員会の基本的な考えは。

**植村教育長** アクセス道路になったことで、通行台数の増加、大型車の増加、車のスピードの加速と大きく3点で変化を生じているので、十分注意するよう指導を強化していく。

今後の具体策として、管理職、教職員、PTA会員による現場点検指導を確実に実施していくなどを確認仕あっている。



排水整備が待たれる八合原地区



改良が待たれる県道71号線

# 財部温泉センターの 指定管理者の見直しを

市長／維持管理の手續きに遅れがあり  
職員に不安をかけたと思う



五位塚 剛 議員

**五位塚議員** 従業員の雇用契約が一年間でなく10月までの4ヵ月間の理由

**池田市長** 指定管理選定委員会では一年更新の契約社員との説明であった。試用期間3ヵ月を経て10月までの短期契約でその後は3月までの契約となる。

**問** 議会での説明でも以前働いていた人は身分を保障すると答弁されていた。約束違反ではないか。

**市長** 先行きが不透明なため、契約については会社側と従業員と合意ができています。

**問** 従業員が同じ内容の仕事をしながら給料に差があるのはどういう訳か。

**市長** 8月からは勤務状況や接遇状況を勘案して、月給制を取り入れて納得してもらった。

**問** 総合人材センターは指定管理を受けた4月よりあまりにも問題が多すぎる。雇用契約についても職員からみて納得のいかないものである。指定管理の見直しをすべきではないか。

**市長** 維持管理の手續きに遅れがあり職員に不安をかけたと思う。



財部温泉センター内の特産品売場

## 末吉消防中央分団詰所 建設場所の変更

**問** 末吉消防中央分団詰所建設の必要性は認めるが、市役所玄関前ではなく、市民の合意の得られる場所へ変更を。

**市長** 6月議会で議決され地質調査を終了し、設計を発注したので変更は考えていない。

**問** 旧駅前空地や区画整理の空地、そして市役所裏入口の空地など再度検討すべきではないか。

**市長** 分団も合意をしているので場所の変更はない。

## 財部坂元地区の宅地分譲事業は場所の変更を

**問** 地域住民から宅地分譲地域については変更の陳情書もあり、なぜ事業をすすめるか。

**市長** 今まで16ヶ所場所の検討を進め選定した。



計画中の財部坂元地区宅地分譲地付近

## 大雨災害について

**問** 中谷地区を含めて稲作農家へ直接支援はできないか。

**市長** 被害のあった農家へは共済組合から補償があり、市としての支援は考えていない。

**問** 水田の災害について固定資産税の減免はどう考えているか。

**市長** 災害については条例に基づいて本人申請で減免を実施します。

**問** 地元住民と合意が得られたと言われたが、文書で交わしたのか。

**市長** 口頭で了解いただいた。

**問** 行政が事業を進めるのに口頭確認はおかしい。また農家の方は、納得していない。再度場所の変更を。

**市長** 基本設計に入っており場所の変更は考えていない。

反対されている方が条件を示されたので意向にそった計画を進めていくので、理解を頂けると思う。

反対されている方が条件を示されたので意向にそった計画を進めていくので、理解を頂けると思う。

# 口蹄疫対策の総括を

市長／今後も予防に万全を図る



土屋 健一 議員

**土屋議員** 口蹄疫対策の市長総括を。

**池田市長** 4月20日宮崎県都農町で口蹄疫が発生し29万頭余りが殺処分されたが、8月27日に終息宣言が出された。

曾於市では農家へ消毒



曾於家畜市場入口での消毒風景

剤を配布し24時間体制の消毒も実施した。

7月27日宮崎県全域制限区域解除。7月29日子牛せり市再開。8月4日市内全域消毒ポイント撤去。消毒に6300万円、見舞金1億3600万円の費用であった。今後も畜産振興には努力を傾注する。

今回畜産農家をはじめ、他業種にまで経済的影響が多かった。今後、国・県から防疫マニュアルが示されるので万全を図りたい。

市ではすでに初動体制

に必要な機材も確保し、人員配置の準備もできている。

**議員** 曾於市・鹿児島県の対策は速やかでの確であった。関係団体役職員の熱意ある対処に感謝する。

発生させない。侵入させない。風化させない、危機意識が大切。

毎年「防疫推進月間」を定めてはどうか。

畜舎の衛生管理、常時消毒、立入禁止表示等行政指導の強化。市独自の防疫マニュアルの作成はどうか。提言する。

どうか。提言する。

**地域グリーンニューディール基金事業を積極的に活用できないか**

**問** 21年度から3年間国で550億円準備された。県は15億円の基金を準備した。

公共投資を環境政策へシフトする事業で県議会も熱意がある。

**市長** 省エネ、環境整備、廃棄物エネルギー利用などに公も民間も活用できる事業。今回は申請が締め切られている。今後に期待し積極的に活用したい。

**議員** 農業も林業も環境で語る時代に入っている。公共事業も環境対策へシフトされる。時代と情報を先取りして曾於市を活性化されるよう提言する。

**災害復旧対策は**

**問** 財部町北部の豪雨災害の全容と復旧スケジュールは。

**市長** 住宅の全壊や道路、河川、農地、林地に大きな被害をもたらした。当面の応急作業68件に1300万円を要し、今後の復旧に371件分15億5千万円以上必要と見込んでいる。これ以外に県が復旧する箇所も多い。

今、国の査定を受けている。年度内の完成を目指したい。

**議員** 消防分団や地域住民の初動対策は迅速で的確であった。職員も懸命の取組みで高く評価する。復旧計画を前倒してでも早期の復旧を切望する。地元住民に安心してもらえることが大切である。来年の田植えには何としても間に合わせるよう尽力されたい。



埋没した中谷地区の水田と路肩決壊

# 口蹄疫対策に要した 経費と人数は

市長／口蹄疫経費2億5212万1千円  
動員数8224人



山下 諭 議員

**山下議員** 4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫は、8月27日終息宣言が出された。隣接地である曽於市は、迅速に適切な措置を取られたと思うが、反省点は何か、要した経費は。

**池田市長** 県境に4月30日から8月4日まで消毒ポイントを4カ所設置し、(注)別に他団体3カ所設置)要員を配置、動噴とマットで消毒を実施した。反省として消毒経験のない職員が交代で実施したことによる引き継ぎにとまどったことがあった

が、人材派遣会社になっ

てからはスムーズに行われた。場所として直接の県境で行うべきという意見もあったので、今後は実施場所の借上げ、整地等も検討していく。

市の経費は総額で2億5212万1千円、消毒に従事した要員は延べ8224人となっている。今回の口蹄疫に関しては、市民がボランティアを含め一体となって協力いただいた。

また多くの方々から義援金等の支援をいただき感謝している。

**問** 現在の物流、人の交流からして、いつ、どこでも発生する恐れはある。自主防衛、自主防疫を実施すべきである。

**市長** 口蹄疫ばかりでなく鳥インフルエンザもあるので、消毒剤の配布とともに、常に警戒し意識の向上を図っていく。殺処分された家畜の埋却地については、確保を指導していく。

**問** せり市が再開された。購買者の動向は。

**市長** 予想より多かったと聞いている。宮崎県の市場が開催されていなかったのが新規購買者もあった。価格に対応した支援策もあるので大きな下落とはならない。

**問** この間イベントや集會が中止され、また他の業種も協力を依頼された。この影響は。

**市長** 8月調査で売上げが減少したと回答が93%あり、理由は客数の減が68%となっている。

**問** 鹿児島県は口蹄疫による地域経済打破の一環として、市町村や商工団

体によるプレミアム商品券発行を支援する事業を行う。これ等の利用は考えていないか。  
**市長** プレミア付き商品券発行は、市独自でも実



再開されたせり市

施しているが、今回の県事業は換金期限が平成23年3月末となっているので実施する考えはない。

## 豪雨による災害復旧は

**問** 8月末での市内の災害発生状況は、その復旧はどうなるのか。

**市長** 曽於市では財部中谷地区を中心に、住宅全壊2棟を含め、総額24億8590万円の被害額となっている。災害復旧は23年3月までには「完了させる。

**問** 中谷地区は宮崎県との県境にあり、河川の管理者が両県にまたがるため、今までも対策が進んでいない。  
鹿児島県に強く働きかけて対応すべきではないか。

**市長** 8月26日に宮崎県庁へ行き、関係部長、県議会議長に河川改修を要望し、同日、国の河川国道事務所長及び民主党宮崎県連へも同様の要望を

行った。  
今後も続けていく。

## 公園のトイレに 手すりの設置を

**問** 高齢者のスポーツ参加や生涯学習は外で活動する機会が多い。  
公園等のトイレに手すりの設置を。

**市長** 市内公園のトイレは22カ所、運動ができる建物には13カ所ある。  
手すりの設置は安全面から考えて大切であるので設置する。



手すり設置が待たれる公園トイレ

# パークゴルフ場の建設を

市長／平成26年度までの完成に努力する



大川内 富男 議員

**大川内議員** 我が曾於市にもパークゴルフ場の早い建設を望む声が多いがフラワーパークとパークゴルフ場の建設の必要性を感じた理由はなにか。

**池田市長** 合併を記念する公園として、市民の方々に憩いの場、交流の場を提供すると共に曾於市を広くPRするため必要と感じた。

**問** 二つの施設の現段階での構想は。

**市長** 検討委員会を設置して、近隣にある施設等の調査をおこない情報を集めて検討している。

**問** 集客をより多くするためにフラワーパークとパークゴルフ場は同地区、同会場が良いと思うが。

**市長** 私も同感である。つつじをはじめチューリップやコスモス等、季節の花々を見てからパークゴルフをして帰る。このような連携が大事である。

**問** この二つの施設は曾於市の観光の核・拠点に十分なりうると思うが。



みんなに親しまれているパークゴルフ（都城市山田町）

**市長** いろいろな考え方があがるが小林の生駒高原、また、鹿屋のバラで有名な霧島ヶ丘公園のように、たくさんのお客を呼び込み、そこで特産品や地場特産品の販売も行う施設にしたい。

**問** この施設の一日も早い完成を望んでいるが、何年頃の完成予定か。

**答** 合併特例債が使える平成26年度までに完成するよう努力していく。

## 火葬場跡地の今後は

**問** 旧火葬場跡地は色々な樹種が鬱蒼と茂っているが跡地の面積と現状はどうか。

**市長** 面積は約2962㎡あり、現在マテバシイ、山桜、サザンカ、金木犀等がだいぶ大きくなっている。また、年数回草刈りをしていく。

**問** ここの樹木は他の場所へ移植するための仮植であると言われるが、ここ近年他の所へ移植し

たことがあるか。

**市長** 近頃公園の造り方も芝生が中心になり、近年他への移植はしていない。

**問** 現在、移植されないなら必要な樹木ではないか。伐採して更地にしたらどうか。

**市長** 現地は多くの樹が植えてあり樹木の背が高くはなっている。よって不必要な樹は伐採して良いと思う。必要な樹は掘り起こして別の場所に植えることも必要だと思う。



更地にしての利用が待たれる旧火葬場跡地（末吉町）

# 財部地区の河川の 抜本的な改修は

市長／被災状況をもとに今後検討していく



瀬戸口 三郎 議員

住宅の移転等、大きな困難が伴うと考えている。被災状況等をもとに、今後検討していく。溝ノ口川、庄内川についても、抜本的な改修を要望していく。

**問** 住宅等の個人財産の災害復旧と危険家屋の防災対策の市単独の助成は考えられないか。

**市長** 市の災害見舞金の見直しを行い、規則を改正した。

国の被災者支援生活再建支援法も9月3日付で公布される予定である。防災対策については、今後の課題である。

## 消防センター（北部消防署）23年度八合原移転について

**問** 消防組合の施設整備計画の中で、消防本部市消防センターの計画は進んでいるのか。

**市長** 市消防センターについては、施設建設を23年度の予定で、今回の補正予算に設計費を計上している。

場所については、できるだけ現在の消防署により近い、八合原地区に建設したいと思っている。消防本部・通信司令室については、消防広域化の関係から、今後、設置される協議会の意向など考慮して判断したい。

## 林業振興について

**問** 林業振興は、市有林、民有林も伐期にきている面積も多く、また、間伐の必要とされる面積も多く、今後森の持つ多面的機能や、中山間地

の活性化には、林業振興をすすめる事が最も大事であり市の積極的な取り組みが望まれると思うが。

**市長** 植林や間伐の取り組みについては、森林組合が中心になって、市単独事業も合わせて積極的に取り組んでいく。林道整備についても、計画的に整備に努めていく。

**問** 今後、地元産材を市の事業でも努めて活用したり、国内自給率を高めるため、市長として活動することが木材価格の上昇につながると思うが。

**市長** 今後も森林整備の中核的役割を担う森林組合と更なる連携を取りながら、林業振興に努めていく。

**瀬戸口議員** 今回の豪雨災害により財部地区の抜本的な改修が必要と思う。庄内川と大川原駅前の吉ヶ谷川の対策を急ぐべきであると思うが計画はあるのか。

**池田市長** 吉ヶ谷川については、市が管理する普通河川であるが、5ヶ所の護岸が決壊し、現在復旧に向けて事務を進めている。

大隅大川原駅前の住宅地の中を流れており、河川の拡張等については



大川原駅前の被災地



曾於市森林組合の貯木場（末吉町）